

令和7年度全国学力・学習状況調査 ～本校の結果概要について～

4月に、6年生を対象とした「令和7年度全国学力・学習状況調査」を実施しました。この調査は児童の学力や学習状況を把握することにより、教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。（主に2年生から5年生で学習した問題が出題されています。）調査の結果を受け、全国的な状況との関係において、本校の調査結果の概要、課題、改善の方向についてお知らせいたします。

結果概要については、特に保護者の皆様と共有したい部分を選んでお伝えしています。本調査結果は、今後の本校児童が学力を身に付けるための大切な資料として活用していきたいと考えています。ご家庭での学習にも是非お役立てください。

なお、調査結果は6年生ですが、学校全体の状況と捉え、全学年を通じて改善を図ってまいります。

本校の全体的な傾向としては、国語・算数が全国平均を下回り、理科が全国平均をやや下回る結果となりました。本校の子どもたちのテストの取組のよさとして、次の2点が捉えられました。

国語・理科・・・◎ 記述式の問題の正答率は、全て全国平均並み。

国語・算数・理科・・・◎ 全国と比べ、無回答の割合が少ない。

国 語

よくできている領域等	課題の見られた領域等	改善の方向
○「言葉の使い方」（短答式） 漢字を文の中で正しく使う。 ○「読むこと」（記述式） 文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける。 	●「読むこと」（選択式） 文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける。 ●「書くこと」（選択式） 文章の構成の工夫を説明した適切な内容を選択する。	☆文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉えることを指導していきます。 ☆自分の考えを書く活動を日常化します。 ・事実と感想、意見を区別し、文章構成を工夫して表現する。 ・与えられた条件で文章を書く。

算 数

全国平均と同等の領域等	課題の見られた領域等	改善の方向
○「図形」（選択式） 図解の角の大きさを理解している。 ○「測定」（選択式） はかりの目盛りを読むことができる。 	●「図形」（選択式） 方眼上の5つの図形の中から台形を選ぶ。（台形の性質の理解） ●「数と計算」（短答式） 数直線上に示された数を分数で書く。（分数を単位分数のいくつ分で捉えること） ●「データの活用」（選択式） 棒グラフから項目間の関係（何倍か）を読み取る。	☆図形領域全般において、既習事項の定着に努めていきます。 ☆0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えることができるように指導します。 ☆グラフのどの部分やどの数値に着目したのかを説明するなど、グラフや表の読み取りを言語化する活動を重視します。

《裏面に続きます》

理 科

よくできている領域等

- 「地球」(記述式)
土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いをまとめた訳を結果を用いて書く。
- 「粒子」(選択式)
水の蒸発について、温度と関連付けて水の変化を理解している。
- 「生命」(選択式)
ヘチマの花のつくりと受粉について理解している。

課題の見られた領域等

- 「エネルギー」(選択式)
乾電池2個で、電磁石を強くできる直列つなぎを選ぶ。
- 「粒子」(選択式)
海にある氷が溶けることによって、水が氷に変わる温度を理解している。

改善の方向

☆直列つなぎと並列つなぎの特徴を再度知識として身に付けさせた上で、作った装置を言葉や図に表現したり、言葉や図から装置を再構築したりするなどして理解を深める学習を重視します。

☆理科の授業で習得した知識を他の学習や生活と関連付けて、思考・判断させながら知識を身に付けさせる指導に努めていきます。



児 童 質 問 紙 より

○割合の高かった質問 (ベスト4)	●割合の低かった質問 (ワースト4)
① 理科が得意である ② 友達関係に満足している ③ 地域や社会をよくするために何かしてみたい ④ 学校に行くのが楽しい	① 読書が好き ② 算数の勉強が好き ③ 算数の勉強が得意 ④ 自分にはよいところがある



教科の学力以外に生活習慣や学習状況などをアンケート形式で調査するものです。中でも「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に、私は注目しています。この質問では、全国に比べ本校は低い結果となっています。自己肯定感をもつ児童が少ないことが分かります。学習に限らず何事にも自信をもって主体的に取り組むためには、この自己肯定感が大きく影響します。今後は、一人一人の子どもを認め、褒める意識を私たち教職員がより高くもち、子どもたちに接していきたいと思います。また、一人一人の子どもが自分のよさを発揮し、活躍できる機会を授業はもちろん、係活動などの特別活動などで設けていきたいと思います。

一方、「友達関係に満足」「学校に行くのが楽しい」と回答した子どもの割合が高いことから、学習に取り組む上でのベースができていることが捉えられます。今後は、学級の絆づくりに力を入れ、子ども同士の関係、子どもと教師の関係性をよりよいものにし、算数の授業をはじめ、楽しく分かりやすい授業づくりに努めてまいります。

読書については、現在、司書教諭を中心に様々な読書活動を工夫しているところです。読書好きな子どもが増えるよう、魅力ある図書館の環境整備もあわせて進めてまいります。

本校の子どもたちは、昨年度の学校評価アンケートで、多くが「会津坂下町が好き」と回答しました。「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という思いに応えることができるよう、総合的な学習の時間の活動等において、地域貢献活動を行うことを検討しています。

「学力トライアスロン」を通して ～学ぶ意欲と自信を子どもたちに～

6年生を対象に、「学力トライアスロン」(3教科テスト)を行っています。事前に出題する問題を子どもたちに提示して家庭学習に取り組みせ、満点「鉄人賞」を目指し、「やればできる!」ことを実感してもらうことを意図した取組です。次回の4回目は9月24日に行います。学力トライアスロンを目標に家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせ、中学校での学習につなげたいと考えています。お子さんへの励まし等を宜しくお願いいたします。

